

# 第8回へき地・地域医療学会

## MSW部会



「地域包括ケアが構築される中でのMSWからの働きかけ」(ワールド・カフェによる多職種での意見交換の試み)

平成26年8月24日(日)

公立黒川病院 医療社会事業係

医療社会事業参与 赤間 弘治



# はじめに



- 平成26年度診療報酬改定において、地域包括ケア病棟は大きな目玉の一つとなっている。
- 後方連携が重要
- 関係者の意思疎通が重要



# 意思疎通性の向上のために



- 会合（ミーティング）を広く開催

→グループワーク・・・抵抗あり

→新しい方法

→ワールドカフェ方式



# 今までの活動について

- 黒川連携の会

発起人：当院医師及び看護師長、MSW

参加者：黒川郡内

- 医療機関
- 介護保険施設
- 居宅サービス事業所等

開催頻度 3か月毎

平成25年12月から意見交換会をスタート



# テーマの設定

- コアメンバーとなるものが、事前に集まり1つのテーマを決めて2回シリーズで開催する形式。
- 平成25年度は、栄養。
- 平成26年度は、感染症。

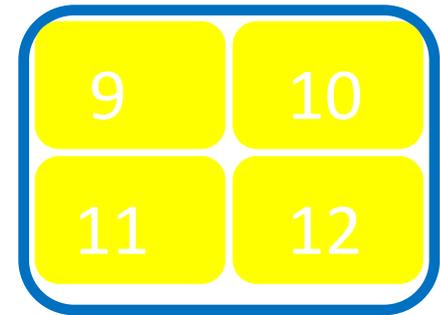
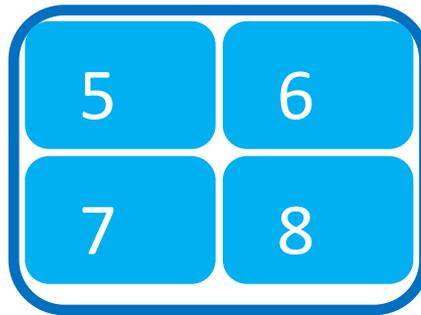
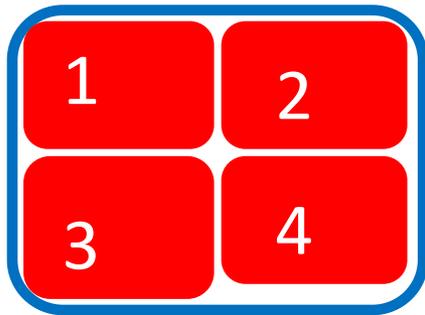


# 意見交換方法

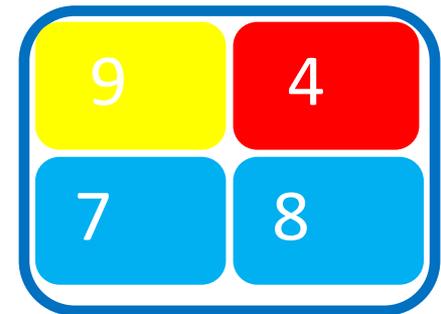
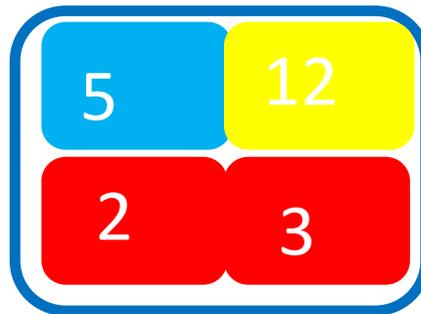
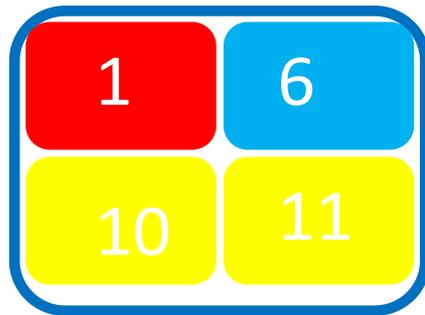
- グループワーク
  - 発信者が限定されやすい
  - 発信への批判に対する委縮
- 公平な意見交換方法として
  - ワールドカフェ方式を導入



# ワールドカフェ方式



15分後



# 画像



Kurokawa



# 栄養士との意見交換会（H25. 1回目）



# 栄養士との意見交換会 第2弾

## (H26. 2回目)



# 合同意見交換会(感染症)

## H26. 3回目



# 合同意見交換会（感染症）



- 事前のプレゼンの段階で、「おおまかな成功のイメージ」を伝え、全体でそれが達成できるように意見交換を開始。
- 終了後、おおまかな成功に到達できたかどうかを全体で評価。以下の2つを目標とした。
  - ①自分以外にも感染対策について関心を持っている方がいると分かって良かった。
  - ②感染症に関して、もやもやとしていたものが解消された。



# 合同意見交換会（感染症）第2弾

## H26. 4回目



- 講義を中心に開催
- 講義を聴いたうえで、意見交換を開催。  
成功のイメージは描かずに開催。
- 講義を聞いた上で疑問点が解消したのか、  
あるいはさらに疑問が生じていないか、  
意見交換を実施。



# H26. 4回目



# アンケートでの意見（肯定的意見）



- 職種が違くと色々な考え方があったと大変参考になった。
- グループを変えての話は多方面からの意見が聞けて良い。
- 意見交換をしあうことで、お互いの問題を把握し、よりより環境作りにつながると思う。
- カフェ方式は話しこんでしまいます。あっという間の時間でした。
- ワールドカフェ方式のグループワークは初めてだったが、リラックスしながら意見交換が出来た。



# アンケートでの意見（否定的意見）



- 意見交換時のテーマが大きすぎてまとまるのに時間がかかった。
- グループに同一事業所が多く発言が少なかった。
- テーマを少しずつ変えているのは分かるが、ジャンルが同じ場合に前回の意見交換会でどの様な課題があがっていたのかなど振り返りを冒頭で行ってはどうか。



# これから

- 意見交換は、発信するまでの心理的な抵抗感が大きい。垣根のない意見交換の場として、ワールドカフェ方式は有効な方法と思われる。
- アンケートで肯定的な意見が多く今後地域包括ケアを構築していくには有効な手段になると思われる。



ご清聴ありがとうございました。



大和町のゆるきゃら  
「あさひなサブロウ」

